

【児童への話】

新年度が始まって3週目、学校での生活は、もう11日目を迎えました。先週の金曜日には、1年生を迎える会がありましたね。とても温かく、ステキな会でした。226人の児童の皆さん全員と先生たちで、楽しく、仲のよい、思いやり溢れる落五小にしましょう。

さて、校長先生はいつも、皆さんが学校で気持ちよく生活するために、「時間 言葉 用意」の意識が大切だという話をしていますね。今日はその中の「用意」の深い意味について、皆さんにお話しします。皆さんは、「用意する」とは、何をすることだと思っていますか？お家でよく、「自分の物は自分で用意しなさい」なんて言われている人もいるかもしれませんね。実際、「用意する」という言葉は、「自分が使う物を自分で整える」という意味で使われることが多いです。でも実は、もっと意味の深い言葉なんです。この漢字をよく見てください。

この「用」は“もちいる”と読み、「何かを使う」という意味の漢字です。そしてこの「意」は、意見や意志などの熟語で使われるように、「その人の心の中や考え、気持ち」を表す漢字です。合わせるとつまり、この「用意」という言葉は、『自分でよく考えて、必要な物と心を整えること』を表しているんです。戦国時代のお侍さんは、戦に行く前、この「用意」という言葉をととても大切にしていたそうです。きっと、戦いに必要な道具、そして心をしっかりと整えて、戦に臨んでいたのでしょう。校長先生がいつも言う「用意」という言葉には、「整えること」と「心や気持ち」の両面があり、その両方ともあることが大切だということを、よく覚えておいてください。

校長先生の大好きな落五小の皆さんには、心を伴った「用意」をしっかりと、毎日の学校生活を安全で実りあるものにしてほしいと思います。とても身近な場面で、校帽や学習道具の用意をイメージしてみてください。校帽は、朝に安全に登校して学校に入るためのパスポート、学習道具は、しっかりと授業を受けるためのチケットだと考え、努力する心と一緒に、毎日必ず用意するようにしましょう。今日は、「用意」の深い意味について、お話ししました。

【本講話について】

本校では、児童が自分自身の成長のために頑張ることを「一日ひとつ」のキーワードで、気持ちよい集団生活を送るうえで大事なことを「時間 言葉 用意」のキーワードで、子どもたちに周知しています。ことあるごとに話しているので、子どもたちは耳タコかもしれませんが、意識付けとはそういうものです。

先週は3日間にわたり、年度初め保護者会を開きました。お家の方の参加率がとても高く、子どもをしっかりと見ていただけるご家庭が多いことが嬉しい限りです。子どもの成長のためには、学校と家庭が車の両輪となり、同じ方向、同じスピードで進んでいくことが大切です。今後ともご協力ください。